☆READ 2023☆第９弾

先生方によるおススメ本紹介企画 （原稿回収） 高ＩＣ本庄・高ＩＤ阿部・高ＩＥ中野・高ＩＥ濱村 （原稿入力・POP 作成） 高ＩＥ中野・高ＩＥ濱村

「リーダーシップを鍛える」

高校Ｉ学年Ａ組担任・地歴　土屋貴亮

荒木香織/著・(株)講談社/発行

2012 年から2015年までラグビー日本代表のメンタルコーチを務めた方が書いた本です。本気で『世界』と戦うためのマインドをどう形成していったのか・・・。その過程がぎゅっと詰まっています。どんな立場の人にも刺さる本です。ぜひ手に取ってみてください。

「スターティングストレングス」

高校Ｉ学年Ｂ組担任・国語　大川健次

Mark Rippetoe/著

(株)医学映像教育センター/発行

バーベルを使ったトレーニングの専門書です。大型の青い本です。内容は濃く細かいです。著者の主張は一貫していて、マシントレーニングよりもバーベルトレーニングのほうが優れているとし、スクワットとプレスとデッドリフトの三種目に重きを置く考え方が私は好きです。

「教養としての投資」

高校Ｉ学年Ｃ組担任・理科　村岡希美

奥野一成/著・ダイヤモンド社/発行

投資は知識がないとギャンブルに思えたり、怖いイメージだったりすると思います。投資はしっかり学べば危険なものではないし、個人も会社も豊かにします。投資についてはもちろん、投資をしていく中で得られる会社への関心や、視野の広がりなど投資の副次的な魅力についても教えてくれる一冊です。投資において、時間は武器です。若いうちにお金の勉強を始めておくといいなとおもいます。

「最後はなぜかうまくいくイタリア人」

高校Ｉ学年Ｄ組担任・芸術　兎東康雄

宮嶋勲/著

(株)日経BP日本経済新聞出版/発行

好きなことだけ楽しみ、嫌いなことは先延ばす、ルーズなのになぜか結果が出る秘密、計画は立てなくても,最後は何とかする。突然戸惑う禁忌な言葉のオンパレード。でもこれで成り立つ素敵な世界が存在します。なぜ？多様性のある価値観に触れてみましょう。

「手のひらの京」

高校Ｉ学年Ｅ組担任・国語　原田貢佑

綿矢りさ/著・(株)新潮社/発行

京都に生まれ育った三姉妹に、京の四季の魔法がかかる。温度やにおいが伝わってくるような情景描写に、息をのみます。人間関係の面倒な部分に、臆さず踏み込んでいく姉妹の生きざまが痛快です。きれいなことばかり描かずに、人は美しいと知らせてくれます。

「怪物」

高校Ｉ学年Ｆ組担任・数学　室井択那

佐野晶/著・(株)宝島社/発行

物語は小学校で起こったいじめの問題から始まる。最初は被害者の母親を視点に、学校に話を聞きに行く場面から。次はいじめが起きたクラス担任の視点。最後はいじめられた子供たちの視点。一つの物語が様々な視点で描かれることで見えてくる人間の弱さ、その中で生きるたくましい子供たち。はたして、「怪物」だーれだ。

「沈黙の春」

高校Ｉ学年Ｇ組担任・理科　鳩谷友一郎

レイチェル・カーソン/著・(株)新潮社/発行

生物の美しさと繊細さを教えてくれた本。人間もまた生物であり自然の一部なのだ。自然や動物が生きづらい世界は、人間にとっても生きづらい世界なのだ。人間だけが特別ではない。読み物としてもとても美しい。文理を問わず、ぜひ手に取ってもらいたい一冊です。

「千利休とその妻たち」

高校Ｉ学年Ｈ組担任・地歴　尾島治信

三浦綾子/著・(株)新潮社/発行

美に洵じた利休。それも妻おりきあったればこそ。全き理解者、そして時に自分をしのぐ美の探究者である妻の全面的な承認を得て充足している利休に怖いものなど在るはずがない。花の精にもたとえられる美しいおりき。だれに演らせる？

「子どもの哲学　考えることをはじめた君へ」

高校Ｉ学年Ｉ組担任・数学　加藤雅之

河野哲也　他/著・毎日新聞出版/発行

友だちはたくさん作るべき？どうして毎日勉強しないといけないの？なぜ子供は化粧をしてはいけないの？「ふつう」ってなに？皆さんも子どものときに色々な疑問を持ったと思います。ところが、年齢を重ねるにつれ考えることを諦めていませんか。この本を読んでもう一度色々な問いについてゆっくり考えてみましょう。